

グリーン四国

四国森林管理局

高知市丸ノ内1丁目3-30

TEL 088-821-2000

FAX 088-821-4834

ホームページアドレス <http://www.rinya.maff.go.jp/shikoku/>

電子メール shikoku_soumu@rinya.maff.go.jp



No.1095 2011年6月号

～木材を搬出する作業道を核とした～ 森林整備推進協定の締結

〈高知中部森林管理署〉



二村署長と小松物部森林組合長協定調印

五月二十七日、高知中部森林管理署と物部森林組合は、「香美市物部町小川地域の森林整備推進に関する協定」を締結しました。国有林と民有林が連携して作業道開設や間伐等を計画的に取り組むことにより、資源の循環利用と、健全で豊かな森林づくりを促進することを目的としています。

この協定は、香美市物部町小川地域に所在する国有林三七七haと、民有林の小規模な森林を集約化した「森の工場」五五〇haの合計九二七haを対象として、今年度から四年間で約四kmの作業道を開設し、一三三haの間伐等の森林整備を実施する計画です。

今年一月に森林組合長から署長に「国有林道の終点から民有林に到達する作業道を設けたいが、どうしたらよいか」との相談があり、話し合いを続けた結果が協定に結びつきました。

また、協定の実施に当たっては、協定区域に国有林分収造林や公団造林、市有林等を含むため、これら関係者の理解と協力が不可欠です。

今後とも、管内の森林・林業の再生・発展に資するように、民有林関係者と一層連携して取り組んで参ります。



2011・国際森林年



第1回技術開発委員会

委員からは、『試験課題「天然林におけるスギ天然更新技術の確立」については、プロット内の調査結果について、稚樹が発生と消長を繰り返している原因に

た。審査を行いました。課題に選定)を加えた。審査を行いました。課題に選定)を加えた。審査を行いました。課題に選定)を加えた。

平成二三年度
第一回技術開発委員会を開催

〈森林技術センター〉



六月一〇日、四国森林管理局において、第一回の技術開発委員会を開催しました。

技術開発委員会は、森林生態学、林木育種、遺

について、発生した稚樹の成長量と併せて周囲の広葉樹の調査を検討すること。試験課題「ニホンジカについて、複数頭捕獲に期待している。試験課題「かかり木処理器具の改良及び伐採方法の検討」(平成二三年度林野庁重点課題に選定)を加えた。審査を行いました。

法の検討」については、器具重量の軽量化と間伐現場へ携行しやすい器具の挑戦に大いに期待している。』等の意見が出されました。今回、頂いたこれらの意見等については、今後の試験設計調査に活かしていきます。

催しました。当日は公募により、四三名の参加がありました。参加者は、バスの中で「中芸地区森林鉄道遺産を保存・活用する会」作成のビデオで森林鉄道の歴史について知識を深めつつ現地へ向かいました。最初の訪問地は、安田川沿いに残る明神口橋とオオムカエ隧道です。森林鉄道ガイドの説明を聞きながら、先達の施工技術に感心していました。

国際森林年記念イベント開催

「古いにしえの森林鉄道を訪ねて」

〈指導普及課〉



六月五日、国際森林年記念事業として、高知県安田町と馬路村の昭和三八

また、馬路村入り口にレールが残された五味隧道に降り立ち感嘆の声をあげました。



ヤナセスギ

「中芸地区森林鉄道遺産を保存・活用する会」及び「魚梁瀬森の案内人クラブ」の協力により開

次は、魚梁瀬の丸山公園に復元された魚梁瀬森林鉄道に乗車しました。本ツアー参加者の中で唯一の児童が特別に機関車への乗車を体験しました。最後は、魚梁瀬のシン

ボル千本山を訪れ、森の案内人の説明を聞きながら森を散策しました。参加者には美林が広がる展望台までみて貰いたかったのですが、連日の雨により、整備してある木道が滑り危険であるため、今回は残念ながら、森の巨人百選の「橋の大杉」付近で見学しました。

参加者からは、「歴史を大切に保存し、伝えていくことは意義のあることだと思った。」「ヤナセスギが大切に守られていることを知り嬉しかったです。癒されました。」などの声も聞かれ、有意義な一日でした。

ふれあい親子体験ツアー
『森と水とエネルギー』開催



〈指導普及課〉

六月一日、「ふれあい親子体験ツアー」を、公募により募集した、親子一五組、三〇名が参加して、高知県の町脇の山ラザ本川で実施しました。

このツアーは、平成一五年から四国森林管理局と四国電力高知支店の共催で実施しており、今回で九回目となります。

当初の予定は、アメゴの放流、発電システムの勉強、発電所の見学、森林教室、木工教室、木のオモチャゲーム、国有林試験地の見学でしたが、残念ながら、こども達が楽しみにしていたアメゴ

の放流は前日からの大雨のため、川が増水し危険との判断から中止となりました。

開会は、四国電力本川の発電所の四国電力エネ



パズルを楽しむ

味深げに説明に聞き入っていました。次は、同会場内で、森林教室で森林と水との関係について勉強し、続いて木工教室で、木の枝の木片や竹などを材料とした貯金箱などを完成させ、木で作ったオモチャの

この見学では、普段見ることの出来ない発電所の設備に、参加者は、興味深げに説明に聞き入っていました。次は、同会場内で、森林教室で森林と水との関係について勉強し、続いて木工教室で、木の枝の木片や竹などを材料とした貯金箱などを完成させ、木で作ったオモチャの

ゲームで楽しみました。この後、四国電力の石井課長から、「木に触れ、森を育て水を大切にし、また、エネルギーを大切にしよう」参加者をお願いして閉会しました。最後に、バスでの帰路、国有林が実施している技術開発試験林を見学し全行程は終了しました。

今年、雨天のため一部予定変更となりましたが、参加者にとって森と水とエネルギーの関係を新たに考える機会になったと思います。

